



東日本大震災を覚えて

この祈りは3月11日に近い主日、3月11日の記念礼拝、祈り等において、およびその後も用いられることを意図して作成されたものです。

いつく 慈しみ深い神、^{ふか かみ} 慰^{なぐさ}めの主よ、^{しゅ} 今^{いま}、わたしたちは^{ひがしにほんだいしんさい} 東日本大震災を覚えて^{おぼ}祈^{いの}ります。どうか、^{ひさいち}被災地にある人、^{ひと} 避難生活^{ひなんせいかつ}を強^しいられている人、^{ひと} 特^{とく}に日本社会^{にほんしゃかい}の中で生きる^いことの困難^{こんなん}に苦しむ^{くる}人、^{ひと} 将来^{しょうらい}の希望^{きぼう}を見い出^みせない人^{ひと}（ことに——）を^{ささ}支^さえてください。

また^{げんしりょくはつでんじょじこ}原子力発電所事故^こにより、^{うしな}失^しわれた自然^{しぜん}と人々^{ひとびと}の生活^{せいかつ}を覚^{おぼ}えます。^{ふるさと}故郷^{こきやう}を離^{はな}れて生活^{せいかつ}する人、^{ひと} 危険^{きげん}な作業^{さぎょう}に従事^{じゅうじ}する人とその家族^{かぞく}をお守^{まも}りください。そして^{せいじ}政治^{しやかい}と社会^{せきにん}に責任^もを持つ人々^{ひとびと}に正^{ただ}しい道^{みち}を歩^{あゆ}ませてください。

わたしたちもまた、これらの^{くなん}苦難^{くなん}をつねに覚^{おぼ}えることができますように。^{にっぽんせい}日本聖公会^{にっぽんせいこうかい}の被災者支援^{ひさいしやしえん}の働^{はたら}きを強^{つよ}めてください。そしてわたしたちも思^{おも}いと力^{ちから}を合^あわせて、^{とも}共に^{あゆ}歩^{つづ}み続けることができるように^{みちび}導^{みちび}いてください。

いのちの^{みなもと}源^{みなもと}である主^{しゅ}よ、^{ひがしにほんだいしんさい} 東日本大震災^{ひがしにほんだいしんさい}のすべての犠^ぎ牲^{せいしや}者^{しや}、そして^{せいかくち}世界各地^{せいかくち}の災^{さい}害^{がい}と争^あいの中^{なか}で生命^{いのち}を失^{うしな}った人々^{ひとびと}を、^{うで}あなたのみ腕^{うで}の中^{なか}に抱^{いだ}き、^{えいえん}永遠^{えいえん}の安^{やす}らぎを^{あた}与^{あた}えてくださいますように。

主^{しゅ}イエス・キリストのみ名^なによって^{ねが}お願い^{ねが}いたします。 **アーメン**

（日本聖公会主教会 2016年2月一部改訂）

「東日本大震災のための嘆願」

司式者 慈しみ深い神、慰めの主よ、（ 年を経た）東日本大震災を覚えて祈ります。どうか、被災地にある人、避難生活を強いられている人、特に日本社会の中で生きることの困難に苦しむ人、将来の希望を見いだせない人（ことに ）を支えてください。

会衆 主よ、お聞きください

司式者 原子力発電所事故により、失われた自然と人々の生活を覚えます。故郷を離れて生活する人、危険な作業に従事する人とその家族をお守りください。そして政治と社会に責任を持つ人々に正しい道を歩ませてください。

会衆 主よ、お聞きください

司式者 わたしたちもまた、これらの苦難をつねに覚えることができますように。日本聖公会「いっしょに歩こう・パート 」の働きを強めてください。わたしたちも思いと力を合わせて、共に歩み続けることができるように導いてください。

会衆 主よ、お聞きください

司式者 いのちの源である主よ、東日本大震災のすべての犠牲者、そして世界各地の災害と争いの中で生命を失った人々を、あなたのみ腕の中に抱き、永遠の安らぎを与えてくださいますように。

会衆 主よ、これらの祈りを主イエス・キリストのみ名によってお願いいたします。アーメン